

令和五年 ほかいどうチャレンジテスト
にがっきまつもんだい
 二期期末問題 (第三回) 国語 小一
 組 番号
 なまえ
 めあて がくしゅうした ひらがなをつかって いろいろなことばをかこう。

一 の なかに 「へ」か、「を」を 入れて、ただしい ぶんを つくりましょう。

1 わたしは、がっこう いきました。 ①

2 こくごの ぶんきょう しました。 ②

二 つぎの えを みて、ぶんを かきましよう。一ます目は、あけて、うすい じの ところは、なぞりましよう。

1 まぼ し たは 。 う を
一ます目は、あけます。



2 に ぼ まは し たじ 。 ん
 ④



3 わ ま し たは 。 ぼ
 ⑤



※つぎの ページにも もんだいが あります。

めあて だれが なにを したかに きをつけて よもう。

三 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

「キョエーン、ワンワン。
キョエーン、ワンワン。」
ろくべえが あなに おちて
いるのを、さいしよに 見つけたのは、
えいじくんです。

「まぬけ。」

と、かんちゃんが いいました。犬の くせに あなに
おちるなんて、じっさい まぬけです。

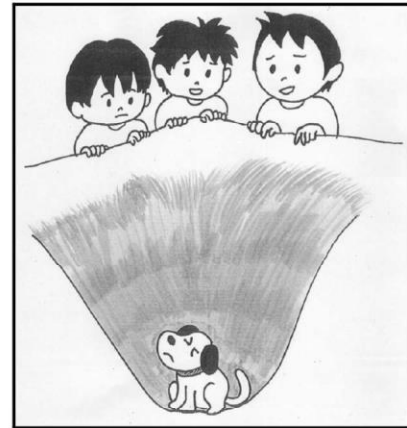
あなたは、ふかくて、まっくらです。なきごえで ろくべえ
と いう ことは わかりますが、すがたは 見えません。

みつおくんが、うちから、かい中ちゆうでんとうを もって
きました。てらすと、上うへを おいて ないて いる

ろくべえが 見みえました。

「ろくべえ。がんばれ。」

はいたに けんじろう「ろくべえ まってろよ」より (令和二年れいわにねんど度 学校図書がっこうとしよ)



1 ろくべえが あなに おちているのを さいしよに
見つけたのは、だれですか。

⑥

2 みつおくんが かい中ちゆうでんとうで あなを てらしたとき、
ろくべえは どのような ようすでしたか。「ないていた」に
つながるように、五ごもじで かきましよう。

ないていた。

⑦

めあて かんさつした ことから 書くことを 見つけて、かんさつカードを 書こう。

一 田中さんは、ミニトマトをかんさつして、分かったことを メモに 書き、その メモを 見ながら かんさつカードを 書きました。

【田中さんの メモ】と【田中さんの 「かんさつカード」】を読んで、あとの 問題に 答えましょう。

【田中さんの メモ】

- ・なえが、ぼくのおねくらいの 高さまでそだっている。
- ・黄色の花がさいたあとに、みどり色のみがなっている。
- ・みは、ぜんぶで五こなっている。

「かんさつした ことを 書こう」より
(令和二年度 東京書籍)

【田中さんの 「かんさつカード」】

ミニトマト の かんさつ
6月15日(月) 名前 田中 りく



① が、ぼくのおねくらいの 高さまでそだっていました。黄色の花が ② に、小さなみどり色のみがなっていました。みは、ぜんぶで五こなっていました。さわると、さらさらしています。みからも、はからも、トマトのにおいがします。

1 【田中さんの メモ】にある ことばを 使って、
【田中さんの 「かんさつカード」】の ①、②に あてはまる ことばを 書きましょう。

① (が) ①

② (に) ②

2 【田中さんの 「かんさつカード」】には、【田中さんの メモ】に ないことも 書かれています。
田中さんが、ミニトマトの ようすが よくわかるように 書きたした ことは どんなことですか。つぎの 文の に あてはまる ことばを 書きましょう。

① トマトを ときの ようす ③

② みや はの ④

※つぎのページにも問題があります。

めあて 時間のじゅんじよと ほたるの ようずに 気をつけて 読もう。

二 つぎの 文しよを 読んで、あとの 問題に こたえましよう。

さなぎに なってから やく 二週間後、ほたるは、いよいよ
せい虫に なります。せい虫に なったばかりの 羽は まだ
やわらかく、色も うすい 黄色です。そして、二、三日後、羽が
かたく、黒く になると、せい虫は 土まゆを こわし、地上に
出て きます。

なつの よる、田んぼや 小川の ほとりで 光って いる
数えきれないほどの ほたるは、このように して 一生を
すごして いるのです。

*「土まゆ」：ほたるが さなぎの あいだ 土の中で すこす 小さな へやのこと

「ほたるの 一生」より（令和二年度 学校図書）

1 せい虫に なったばかりの ほたるは どのような ようすですか。文しよ中の
ことばを 使って 書きましよう。

⑤

2 線「せい虫は 土まゆを こわし、地上に 出て きます。」とありますが、
これは せい虫に なって 何日後の ことですか。文しよ中の ことばを
使って、「後」に つながるように 書きましよう。

後

⑥

めあて 話し合いの目的や進め方に気をつけて、司会の進行にそって話し合おう。

一 田中さんのグループでは、運動会の練習をがんばれるような合い言葉をきめるために司会の進行で話し合っています。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【話し合いの様子】

【司会①】

わたしは、「負けるな、がんばれ。」がいいと思います。理由は、運動会の練習のときに使って、はげまし合えるからです。

【司会】 つぎに、木村さんおねがいます。

多くの考えた合い言葉は、「きつとできる。」と「あきらめない。」です。この言葉がいいと思う理由は、「一人一人が自分に言い聞かせて、運動会の練習をがんばれると思うからです。」

【司会②】

わたしは、「えがおがいちばん。」を合い言葉にしたいです。運動会の練習がたいへんなときも、この言葉を思い出して、えがおでいられたら、みんな楽しくすごせると思うからです。

【司会③】

ぼくは、山下さんといて、「えがおでがんばろう。」という合い言葉を考えました。理由は、えがおで楽しく運動会の練習ができるように、この言葉を言い合えたらいいなと思ったからです。

「グループの合い言葉をきめよう」より (令和二年度 東京書籍)



【田中さん】



【山下さん】



【木村さん】



【石川さん】

1 【司会①】から【司会③】に入る言葉としてふさわしいものを、次のアからウまでの中からえらんで、記号を書きましよう。

ア にたような意見がある人はいませんか。

イ ここまで、二人に意見を出してもらいましたが、いつもはありませんか。なければ、次の意見をおねがいます。

ウ これから、運動会の練習をがんばれるような合い言葉をきめるために、話し合いをします。始めにみなさんの意見を聞いて、その後、出た意見について話し合い、まとめます。それでは、意見を出してください。

【司会①】

①

【司会②】

②

【司会③】

③

2 あなたなら、どのような合い言葉を考えますか。四人の話し方をみながら理由もあわせて書きましよう。

④

※つぎのページにも問題があります。

めあて だん落とだん落との関係に気をつけて読もう。

二 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

- ① 人に何かを知らせるときに、わたしたちは、言葉や身ぶりだけでなく、合図を出したり、しるしを使ったりします。わたしたちの身の回りには、そういう合図としるしがたくさんあります。
- ② では、合図やしるしには、どのようなしるしがあり、わたしたちの生活の中でどのようにやく立っているのでしょうか。
- ③ げんかんのチャイムが鳴ると、だれかがたずねてきたことが分かります。また、消防車や救急車、パトローラーなどは、それぞれ違った音のサイレンを鳴らしながら走ります。
- ④ これらは、決まった音を使って、人がたずねてきたことや火事や事故などで急いでいる車が走っていることをわたしたちに知らせてくれます。音には、はなれたところにいる人に、目に見えないことをつたえるというよさがあります。
- ⑤ 交差点にある信号機は、青や黄や赤の色で、それぞれ「すすめ」「注意」「止まれ」という合図を出します。また、運動会のリレーでは、組ごとにはちまきやバトンの色をかえて、おたがいの目じるしにします。学校図書館などでは、童話の本には赤、科学の本には青、などとやくそくを決めて、色のシールをはって目じるしにすることもあります。
- ⑥ これらは、色で区別することで、意味や、組み分けやなかま分けがあることをわたしたちに知らせてくれます。色を使った合図やしるしには、見てすぐ分かるというよさがあります。

「合図としるし」より（令和二年度 学校図書）

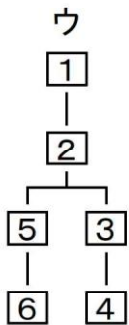
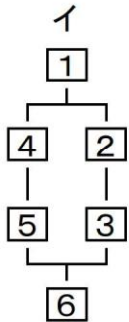
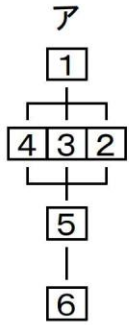
1 この文章は、②だん落が「とい」のはたらきをしています。「とい」のこたえに当たる「合図やしるし」のしるしや「わたしたちの生活の中でどのようにやく立っているか」を説明しているだん落は、どこからどこまでですか。番号を書きましょう。

だん落から

だん落まで

⑤

2 ①だん落から⑥だん落までのつながりをつぎの図のようにまとめました。だん落のつながりとしてふさわしい図を、次のアからウまでの中からえらんで、記号を書きましよう。



⑥

めあて 中心をおさえ、目的に合わせて要約しよう。

一 山田さんは、「空飛ぶふるしき ムササビ」を読んで、ムササビのひみつについて学級のみんなに知らせたいと考え、本の帯を作ることにしました。次の【文章】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【文章】

段落のはじめにある丸数字は、その段落の番号を示しています。

① ムササビは、リスの仲間の小動物です。鳥のような横に長いつばさはないのに、木から木へ、空中をすべるように飛んで移動します。そのすがたは、まるでふるしきを広げているようです。

② では、ムササビはどのように飛んで移動するのでしょうか。

③ ムササビの体のわきには、「飛まく」とよばれるまくがあり、それを広げてつばさにすることで飛ぶことができます。前あしの付け根には、細くてやわらかいほねがあります。ふだんは、そのほねを内側にたたんでいますが、開くことで飛まくを大きく広げることができます。この仕組みによって、ムササビの飛まくは、正方形に近い形になります。

④ では、ムササビがこの飛まくを使って、どうやって飛ぶのか、実験をしてみましょう。

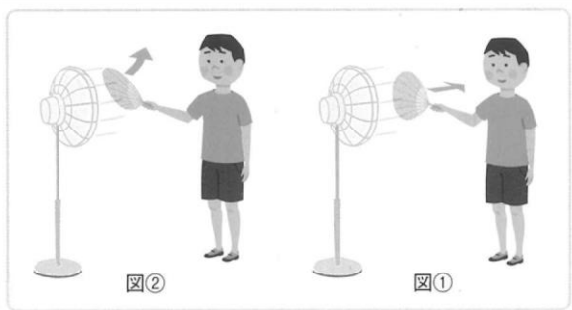
⑤ まず、図①のように、せん風機を回して、右手でうちわを持って、風を受けてみましょう。うちわが風を受けて、右手全体で風の力を感じますね。

⑥ 次に、図②のように、うちわを風に対してななめにしてみましょう。すると、風の力で右手がうき上がるように感じます。

⑦ ムササビの飛まくは、このうちわと同じように風を受け取る働きをしていて、その時に起こるうき上がる力のおかげで、空中をすべるように飛ぶことができます。また、この正方形に近い形の飛まくのおかげで、垂直に立っている木の幹に着地できるといふよきもあります。

⑧ では、ムササビの尾も見えてみましょう。ムササビが飛ぶ方向を変えるとき、飛まくだけでなく、この長い尾も使っています。この尾を、船の後ろについているかじのように使い、バランスをとっています。こうすることで、木から木へと飛びうつりたい方向へ行くことができるのです。

⑨ 地上には、ムササビをおそうキツネやイタチなどがあるので、木から下りるのはきけんです。また、となりの木にうつるときに、いちいち地上に下りてからもう一度登るよりも、飛びうつったほうが省エネルギーになるというよきもあります。木から木へ空中をすべるように飛んで移動するこの仕組みは、ムササビが生きていくための大切なものです。



「空飛ぶふるしき ムササビ」東 昭 より（令和二年度 学校図書）

※次のページにも問題があります。

めあて 相手や目的を考えて手紙を書こう。

二 田中さんは、地域の自然かんきょうについて学習したときに、市役所の西山さんにお願いの手紙を書いてしりょうを送ってもらいました。また、学習後に、お礼の手紙を書きました。次の【お願いの手紙】と【お礼の手紙】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【お願いの手紙】

初めておたよりします。

わたしは、谷山小学校の四年生の田中りくといいます。

今日は、お願いがあってお手紙を書きました。今、わたしたちのクラスでは、そうごう的な学習の時間に、地いきの自然かんきょうについて調べています。わたしたちのグループは、大田川の自然を守る取り組みをテーマにすることにしました。そこで、市の取り組みについてのしりょうを送っていただきたいのです。

調べて分かったことは、新聞にまとめ、地いきの人たちとの交流会で発表する予定です。ぜひ、ご協力をお願いします。

だんだん暑くなってきましたが、お体に気をつけてください。

前文

書きだしのあいさつ

自分のしりょうかい

本文
用件

末文

結びのあいさつ

・相手のけんこうを
気づかう文を書く。

後付け

【お礼の手紙】

こんにちは。暑い日が続いていますが、お元気ですか。谷山小学校の田中りくです。

先日は、しりょうを送ってくださってありがとうございます。先週の土曜日、地いきの人たちとの交流会がありました。しりょうをもとに、上流の市や町との協力についてまとめて発表しました。大田川の自然を守るために、

A

ご協力いただいたおかげで、分かりやすい発表になったと思います。本当にありがとうございます。

これからもお元気でがんばってください。さようなら。

末文

・相手へのお礼の内容を具体的に書く。

ア

後付け

ウ

イ

前文

本文
用件

・お礼の気持ちと、
何に対するお礼の手紙であるかを書く。

「お願いやお礼の手紙を書こう」より（令和二年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

1 田中さんは、【お願いの手紙】の でのようなことを書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。④

- ア お願ひすること、質問したいことを書いている。
 イ そうごう的な学習の時間できょうみをもったことについて書いている。
 ウ そうごう的な学習の時間で調べて分かったことを書いている。
 エ お願ひすること、お願ひする理由を書いている。

2 田中さんは、手紙の後付けを書こうとしています。【お願いの手紙】と【お礼の手紙】の ア・イ・ウ の中に、どのような内容を書くときよいですか。次の1から3までのの中からそれぞれ一つえらんで、その番号を書きましよう。⑤

1 谷山小学校 四年二組
 田中 りく

2 ○○市役所
 西山おさむ様

3 二〇二〇年六月〇日

3 田中さんは、【お礼の手紙】を書く前に書きたいことをメモしました。この【メモ】の言葉を使って【お礼の手紙】の A に入る内容を、次の【じょうけん】に合わせて書きましよう。⑥

【メモ】

- ① 近くの市や町だけでなく、遠くの市や町と力を合わせている。
- ② 多くの人たちがかかわって大田川の自然が守られていることにおどろいた。

【じょうけん】

○ 【メモ】①、②の両方から言葉を取り上げて書くこと。
 ○ 書き出しの言葉に続けて、二十五字以上、三十五字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。
 ※とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

大田川の自然を守るために、

25																	
35																	

国語 解答用紙

★先生方へ→解答欄の①～⑥の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1
A
①
B
②

2		
		ム
		サ
		サ
		ビ
		は、
45	30	

③
 すうの
 ○に、
 ③に飛木
 りでから
 動木へ
 空
 中をす
 べ
 るよ
 き
 ま

二

1
④
2
ア
イ
ウ
⑤

大田川の自然を守るために、

3		
25		
35		

へここに左には解答を書いてはいけません

学校名		
	組	出席番号
氏名		
45分		

めあて 自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容をとらえよう。

一 石川さんは、同じ委員会の六年生から、委員会活動に取り組むうえで役立つ話を聞くために、聞きたいことを整理した【インタビューメモ】をつくり、インタビューをしました。次の【インタビューメモ】と【石川さんのインタビュー】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【インタビューメモ】	
インタビューの相手	運動委員会の六年生 高橋巧太さん
目的	休み時間の見回り活動で、あぶない場面やまちがった道具の使い方を注意するときに、どうしたらよいかアドバイスを聞く。
必ず聞きたいこと	必要に応じて聞きたいこと
聞きたい話題① 声をかける場面について ◎これまで、どんな場面で注意したことがあるか。	・体育館と校庭のどちらのほうが、あぶない場面が多いか。 (予想) 体育館
聞きたい話題② 声のかけ方について ◎どんなふうになら声をかけたらよいか。	・今まででいちばんあぶないと思ったのは、どんな場面か。↓どうしたか。

【石川さんのインタビュー】

石川 高橋さん、こんにちは。今日は、運動委員会の見回り活動について聞きたいと思います。よろしくお願いします。

高橋 よろしくお願いします。

石川 見回り活動は、休み時間に校庭や体育館の見回りをして、あぶない場面やまちがった道具の使い方などを見つけたら注意をする活動ですよね。高橋さんは、これまで、どんな場面で注意をしたことがありますか。

高橋 そうですね。体育館でサッカーをしている人を見つけて注意したことがあります。ほかの遊びをしている人の方に、急にボールが飛んでいってしまい、ぶつかりそうになって、あぶない場面でした。

石川 校庭と比べて体育館はせまいから、ほかの遊びをしている人どうしが近いですもんね。そうすると、体育館のほうが、あぶない場面は多いのでしょうか。

高橋 はい。特に、体育館でのボール遊びですね。はしのほうで低学年の子たちも遊んでいることがあるので、その近くで、ボールを使う遊びをしている人を見つけたら、場所を移動してもらおうよう、声をかけます。

石川 なるほど。そういうときは、

A

「知りたいことを聞き出そう」より（令和二年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

1 【インタビューメモ】で石川さんは、聞きたいことを整理しています。そのくふうとして当てはまらないものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。①

- ア インタビューをする目的を書いている。
- イ 必ず聞きたいことと、必要に応じて聞きたいことを区別して書いている。
- ウ インタビューをするときと同じ言い方で書いている。
- エ 聞きたいことに対してどんな答えが返ってくるか、予想される答えを書いている。

2 石川さんは、インタビューのとき、【インタビューメモ】を見ながら、必ず聞きたいことについて、高橋さんの答えと関係付けながら聞こうとしています。Aに入る質問を、次の【条件】に合わせて書きましよう。②

【条件】

- 十字以上、二十字以内にまとめて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。

3 石川さんは、インタビューで知ったことをまとめ、グループで発表しました。【石川さんの発表】のBの部分で、次の【条件】に合わせて書きましよう。③

【石川さんの発表】

見回り活動では、校庭より体育館の方が、注意する場面が多いことが分かりました。

特に、

B

声のかけ方も（以下続く）



【条件】

- 高橋さんが、特にあぶないと感じた場面とその理由について、【石川さんのインタビュー】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、五十字以内にまとめて一文で書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくむ。
- 文末を、聞いたことを伝える言い方になるようにすること。

※次のページにも問題があります。

めあて 書き手の意図に注意して、写真と文章を関連付けて読もう。

二 木村さんと山田さんは、ある年の同じ日にけいさいされた二つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図について話し合っています。次は【A社の記事】、【B社の記事】、【話し合いの様子の一部】です。これらを読んで、あとの問題に答えましょう。

【A社の記事】

見出し

車いすバスケットボール日本選手権の決勝が、5月5日、東京体育館で行われた。宮城マックスがノーエクスキューズ（東京）を55対52で破り、9大会連続の優勝を果たした。

前半で優位に立ったのは、ノーエクスキューズ。宮城マックスのエースの藤本選手をしつこくマークし、得点させない。

後半に入ると、藤本選手のシュートも決まりですが、宮城マックスはリードを許す苦しい展開のまま、終ばんをむかえる。

しかし、残り10分、宮城マックスが豊島選手の得点で同点に追いつくと、連続得点でついに逆転。ノーエクスキューズも連続得点で食らいつづが、試合終りよう直前のシュートが外れて、宮城マックスの優勝が決定した。

最優秀選手に選ばれた藤本選手は、「勝てた要因はチームプレー。ぼくだけでなく、全体で点を取れるチームになった。」とふり返った。12大会連続の得点王はのがした藤本選手だが、チームの成長を喜んだ。

「新聞記事を読み比べよう」より（令和二年度 東京書籍）

【話し合いの様子の一部】

木村 同じ試合のことを伝えているけれど、記事の内容はちがうね。それぞれ

れの記事で共通しているところとちがうところはどこかな。

山田 共通して伝えているのは、車いすバスケットボール日本選手権の決勝が行われ、宮城マックスが9連覇を果たしたことだね。

木村 じゃあ、ちがうところはどこだろう。

山田 使われている写真がちがうね。写真が書き手のメッセージを強めると聞いたことがあるけど、それぞれの記事は何を伝えたいのかな。

※次のページにも問題があります。

1 次の見出し（記事の中心を短い言葉で表したものの）は、A社、B社どちらの記事のものでしょうか。記号で書きましよう。④

見出し

宮城マックス9連覇 夢は世界へ
震災乗り越え、ちよう戦は続く

2 下の写真は、A社、B社どちらの記事のものでしょうか。記号で書きましよう。

また、選んだ理由を【A社の記事】または【B社の記事】に書かれている言葉を使って三十字以内で書きましよう。⑤



シュートを放つ宮城マックスの藤本選手

3 山田さんは、二つの新聞記事において、書き手が読み手に伝えたいことは何かを考え、ノートにまとめました。③に入る内容を、次の【条件】に合わせて書きましよう。⑥

【山田さんのノート】

〔A社の記事〕

・前半と後半に分けて試合の様子をくわしく書くことで、宮城マックスが苦しみながらも勝利した様子を伝えたい。

・エースの藤本選手ふじもとのコメントを書くことで、宮城マックスがチームとして成長したことを伝えたい。

〔B社の記事〕

・東日本大震災しんさいの時のチームの様子を書くことで、9大会連続の優勝ゆうしょうまでの苦難なんを伝えたい。

・試合後の岩佐いわさかんとくとくのコメントを書くことで、

③

【条件】

○【B社の記事】から、言葉や文を取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト 二学期末問題（第三回）

小学校第五学年

国語 解答用紙

★先生方へ：解答欄の①～⑥の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

一

1

①

2

2	
20	10

②

特に、

3

3			
50	30		

③

二

1

1
社

④

社

2

2			
30			

⑤

試合後の岩佐いわさかんとくくのコメントを書くことで、

3

3		
30	20	

⑥

へここから左には解答を書いてはいけません

学校名

組

出席番号

氏名

1/6問中

令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト
二学期末問題（第三回） 国語 小六

組 番 氏名

めあて たがいの立場や意図を明確にして、考えを広げたりまとめたりしよう。

一 山下さんのグループは、「観光案内では、方言と共通語のどちらを使うほうがよいか。」という話題について話し合っています。次の、【話し合いの様子の一部】【山下さんのメモ】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 これから、「観光案内では、方言と共通語のどちらを使うほうがよいか。」という話題について話し合います。異なる立場の考えを聞き合い、どちらがよいかを考えていきましょう。この話し合いは、黒板に書いた計画にそって進めます。

まず、それぞれの立場の意見を聞きましょう。方言がよいという立場の人からお願いいたします。

山下

わたしは、方言を使うほうがよいと考えています。方言を聞くと、その土地らしさを感じることができからです。夏休みに、家族旅行で名古屋に行ったら、駅の構内放送が方言で、B。観光案内で方言を使ったら、その土地にきた気分が高まって、旅行がもっと楽しくなると思います。

木村

ぼくも方言のほうがよいという立場です。理由は二つです。一つは、観光案内で方言を使えば、地域の歴史や食べ物と同じように、地域の言葉を知ってもらえるからです。もう一つは、方言のほうが温かみがあるからです。親しい感じがして、旅行に来た人の気持ちがなごむと思います。

司会

それでは次に、共通語がよいという立場の人、お願いします。

石川

わたしは、観光案内では、共通語を使うほうがよいと考えます。共通語は、どの地域の人にも通じるからです。同じものでも、方言によって言い方がちがったり、その方言にしかない独特の言葉があったりして、通じないことがあります。案内する内容を正しく伝えるには、だれでも分かる共通語を使うほうがよいと思います。

田中

ぼくも、共通語のほうがよいという立場です。理由は二つあって、一つは、石川さんと同じです。もう一つは、共通語で話すほうが、ていねいな感じがして、観光に来た人が気持ちよく過ごせると思うからです。

司会

両方の立場の意見を聞きました。方言がよいという立場の人の理由は、……でしたね。一方、共通語がよいという立場の人の理由は、……でした。

それでは、それぞれの立場の意見に対して質問しましょう。まず、方言がよいという立場の意見に対して、質問してください。

（質問が続く）

司会

それでは、話し合いをまとめます。今日は、「観光案内では、方言と共通語のどちらを使うほうがよいか。」という話題について、方言がよいという立場と、共通語がよいという立場の二つの立場から話し合いました。その結果、どちらの立場にも、よいところとこまるころがあることが分かりました。案内する相手や場面によって、方言がよいときと共通語がよいときがありそうですね。これで話し合いを終わります。

「話し合って考えを深めよう」より（令和二年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

【山下さんのメモ】	
話題	観光案内では、方言と共通語のどちらを使うほうがよいか。
立場	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">A</div> がよいという立場
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・方言を聞くと、その土地らしさを感じる。 ・住んでいる地域とちがう場所に来たという気分が高まる。 ・夏休みに家族で行った名古屋。駅の構内放送が方言だった。初めて聞く言葉にわくわく。

- 1 山下さんは、観光案内では**方言と共通語**のどちらを使うほうがよいと考えていますか。【**山下さんのメモ**】の

A

 に入る言葉を書きましょう。①
- 2 山下さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最もふさわしいものを、次の**アからエ**までの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。②
- ア** たがいに相手の意見に反論し合いながら、よりよい考えを生み出そうとしている。
イ たくさんの人が話せるよう、一つの意見につき一つ理由を話すようにしている。
ウ 話し合いを始める前に、目的や方向性を確認した上で話し合っている。
エ 意見が対立した場合は、必ず一つの意見にまとめようとしている。

3 山下さんは、【**山下さんのメモ**】をもとに自分の考えを述べました。【話し合いの様子の一部】の

B

 に入る内容を、【**山下さんのメモ**】から言葉や文を取り上げて、二十字以内で書きましょう。③

4 山下さんは、話し合いが終わった後に、出た意見をもとに、もう一度話題について考えました。次の【話し合い後の山下さんの考え】の

C

 に入るのはまる内容を次の【**条件**】に合わせて書きましょう。④

【話し合い後の山下さんの考え】

共通語は、

C

という意見を聞いて、観光案内の中でも、しせつの内容などを正しく説明したいときは、共通語を使うほうがよいと思いました。



- 【**条件**】
- 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 書き出しの言葉に続けて、二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※次のページにも問題があります。

投稿5 読者Fさんのコメント

現在、市内のパレーボールチームに参加している者です。わたしたち一般の社会人にとっては、厳しい練習をして試合に勝利することよりも、一生の間スポーツを楽しむことの方が重要です。

実際に、18歳以上を対象にした世論調査では、「運動・スポーツを行った理由」として、「健康のため」と答えた割合が77%にも達しています。次いで多かったのが、「体力増進・維持のため」の53%でした。

スポーツをすることで健康を維持し、生がいにわたってスポーツを楽しむこと。それがいちばん大切なことではないでしょうか。

投稿6 読者Eさんのコメント

確かにスポーツを楽しむことも大切だ。しかし、最近の風潮として、何でも楽しさばかりが強調されるのは、いかがなものだろうか。わたしは、楽しさだけでは、決して多くのことは学べないと思う。

柔道の金メダリスト古賀稔彦氏は、「練習で限界をこえた自分を知っておかなければ本番では勝てない。」と言っている。かれはオリンピックで金メダルを取り、世界大会でも何度も優勝している人物である。厳しい練習で極限まで体をきたえ、技術の向上に努力しているからこそ、試合で超人的な力を発揮して勝利を手にすることができたのだろう。

自分の限界まで努力するという事は、スポーツだけではなく、人間として生きていくうえでも大切な態度だといえる。

投稿7 読者Aさんのコメント

自分の限界にどむのは尊いことだが、「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」という言葉があるように、過度の運動はかえって害になるということもある。

運動して体をきたえるときには、ややつかれる程度の運動量や時間で行うのが効果的だと言われている。加えて、18歳以下のスポーツに関する調査では、体をいためる要因として、「過度な練習」や「不適当な練習」が挙げられていることをご存じだろうか。

過度な運動は、効果をもたらさないばかりか、取り返しのつかないけがをまねく危険をはらんでいる。EさんとBさんのコメントにうなずける点もあるが、その危険を考えると、わたしたち一般人は、むやみに一にぎりの有名人のまねをすべきではないだろう。

〔ニュースの一部〕

延長13回 232球投げぬいたエース

高校野球に新たな怪物が誕生した。大会初日の第4試合、〇〇高校の木村投手(3年)が、延長13回、232球を一人で投げぬいた。木村投手のねばり強い力投が、チームをサヨナラ勝ちへとみちびいた。……。

投稿1 読者Aさんのコメント

この試合を見ていたが、勝つことだけを考えて体に負担をかけ続けると、かたやひじをこわしてしまうのではないだろうか。勝つために限界をこえた無理な負担をかけてまでスポーツをすることはない、というのがわたしの意見だ。

なぜなら、スポーツを通して健康な体や心を育てるという、スポーツの目的に反するからだ。体や心の健康には、仲間と楽しく、適度な運動量で行うことが大切だ。

スポーツをして逆に体をこわしては、スポーツをする意味がないだろう。

投稿2 読者Bさんのコメント

読者Aさんの意見には反対です。スポーツは、勝利を求めてやるからこそよいのだと思います。

なぜかという、勝ちたいという意欲があるからこそ、選手は練習を積んで体をきたえ、技術を進歩させることができるからです。

そして、勝利を手にするためには、ある程度体に負担をかけることも必要だと思います。どんなスポーツでも、厳しい練習を通して、体のよりよい動かし方や新しいわざ、強い心を身につけていくことができるのです。

投稿3 読者Dさんのコメント

D

投稿4 読者Cさんのコメント

わたしは、体に無理な負担をかけてまでスポーツをすることに反対です。

その理由は、未来ある若者に、わたしのような思いをしてほしくないからです。わたしは中学生のとき、サッカーに熱中していましたが、しかし、試合に勝ちたい気持ちのあまり練習をし過ぎてひざをいためてしまい、サッカーが続けられなくなりました。特に成長期の若者は、体が十分に発達していないので、体をこわしやすいと言われています。わたしのように一度体をこわすと、その後スポーツが続けられなくなることだってあるのです。

「インターネットの投稿を読み比べよう」より(令和二年度 東京書籍)

※次のページにも問題があります。

二 高橋さんは、あるニュースの一部に投稿された意見を読んで、あとの問いに答えましよう。

めあて 投稿を読み比べ、文章に表れている書き手のくふうについて読もう。

投稿 1 読者Aさんのコメント
この試合を見ていたが、勝つことだけを考えると体に負担をかけ続けると、かたやひじをこわしてしまうのではないだろうか。……。

投稿 2 読者Bさんのコメント
読者Aさんの意見には反対です。スポーツは、勝利を求めてやるからこそよいのだと思います。……。

投稿 3 読者Dさんのコメント

わ	た	し	は、																

85 100

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

- 1 高橋さんは、投稿の内容を友達に説明しようと思います。その説明として当てはまるものをアからエまでのの中から一つ選んで、記号で答えましょう。⑤
 - ア 投稿1は、スポーツはけがをしないことが目的だという考えだ。
 - イ 投稿2は、スポーツは勝利を求めてやるからこそよいという考えだ。
 - ウ 投稿5は、スポーツは厳しい練習ではなく、そのときを楽しむことが重要だという考えだ。
 - エ 投稿6は、スポーツを楽しむことこそ、生きていくうえで大切だという考えだ。
- 2 高橋さんは、投稿を参考にして、自分の意見を投稿してみたいと思いました。このとき、説得力を高めるため、理由や根拠よとして「ことわざや格言を使いたい。」と考えました。参考にする投稿として当てはまるものを投稿1から投稿7までのの中から一つ選んで、数字で答えましょう。⑥
- 3 あなたが読者Dだったら、投稿3の D にどのような意見を投稿しますか。次の【条件】に合わせて書きましょう。⑦
- 【条件】**
- 投稿1と投稿2のどちらの意見に反対するのか、立場を明らかにすること。
 - 投稿1と投稿2から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 反対する理由を入れて、書き出しの言葉に続けて、八十五字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。
- ※ ◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

国語 解答用紙

小学校第六学年

★先生方へく解答欄の①く⑦の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

一

1	①
2	②

3		共通語は、	④
20		③	

4		共通語は、	④
30	20		⑦

二

1		⑤
2	投稿	⑥
3	わたしは、◆	
		85
	100	⑦

（ここから左には解答を書いてはいけません。）

学校名	組	出席番号	名前
/7問中			